



エグゼクティブブリーフ

バイナリ管理による ソフトウェアデリバリの 高速化と強化

バイナリ（アーティファクト、パッケージ、ライブラリ、コンポーネントなど）はアプリケーションの重要な構成要素です。開発チームは毎日さまざまな技術を活用し、既存のバイナリ（社内開発でもサードパーティ製どちらも）を新しい成果物の一部として組み込み、新しいバイナリを生成しています。

オープンソースの動向、接続デバイスの増加、グローバルに分散したチーム、開発ペースの増加などの要因により組織が管理するバイナリが爆発的に増加し特定のソフトウェアサプライチェーン（SSC）に潜在的で無限の障害ポイントが発生する可能性があります。例えば、分散した開発チームはマイクロサービスアプリケーションを確実に連携させるために同じパッケージのバージョンを利用する必要があります。オープンソースのライブラリには脆弱性、バージョン、コンプライアンスに関する懸念など、未知の問題を抱えています。

組織が成長するにつれて、ソフトウェアと構成要素に対する監視と露出は増加する一方です。そのため組織はDevOpsとセキュリティのワークストリームを加速・自動化し、SCCの一部として活用されるバイナリを組織全体で可視化し制御できるようにするポリシー、プロセス、ツールを導入することが必要不可欠です。

重要なポイント

- バイナリは開発企業の生命線です
- バイナリの爆発的な増加によって組織のSSCに多くの潜在的な障害ポイントをもたらします
- 継続的な更新とリリースに移行するには信頼できるバイナリが必要です
- バイナリ管理は開発の強化と開発スピードを加速させるために必要不可欠です
- JFrogは組織がバイナリを中心とした信頼の輪を構築し、バイナリの使用方法の管理をサポートします

課題：

変化するテクノロジーのトレンドへの対応

一般的な企業の開発チームでは、アプリケーション開発でさまざまなパッケージタイプを使用しています。開発者は組織のポリシーに縛られることなく、自分の好きな開発言語とツールを使いたいと考えています。基本的なDevOpsツールはマルチクラウドのサポートなど、多様で進化するテクノロジーエコシステムをサポートするために柔軟でなければなりません。

依存関係の管理とバージョンのコントロール

開発プロセスを自動化し、継続的なアップデートに移行するには、ソフトウェア全体で活用されているバイナリを信頼する必要があります。開発スピードの低下を避けるには、開発者がアーティファクトと依存関係の適切なバージョンを使用でき、CI/CDパイプラインが世界中のどこからでも確実に利用できる必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの取り組みを一貫して適用

バイナリがばらばらに管理されていると、セキュリティポリシーやツールを適用する際に見落とされる可能性が高くなります。新しい脆弱性が発見された場合、組織はSSCのバイナリに特定の脆弱なパッケージやライブラリが含まれているかどうか、影響を受けているかどうかを迅速に特定し、対応する必要があります。真に安全なSSCを構築するにはバイナリを検証し、ポリシーを継続的に実施していく必要があります。

JFrogを使った解決法：

柔軟性を犠牲にしない一元管理

30種類以上のパッケージとファイルタイプのネイティブサポートと、すぐに使えるエコシステムのインテグレーションを備えた単一の最高のバイナリ管理ソリューションで開発チームがあらゆるテクノロジーを使用できるようにします。アーティファクトの量と種類が急増してもソフトウェアサプライチェーン全体のすべてのバイナリと依存関係を一元管理し保存、追跡します。

ソフトウェアサプライチェーンの管理

開発からリリース、アーカイブまでSSC全体でバイナリを導入し、次のステージに進めて活用する方法を管理します。無限のエンドポイントにあるすべてのバイナリの相互関係を把握します。業界をリードするメタデータのキャプチャとカスタマイズ可能なタグにより、バイナリの使用状況、トレーサビリティ、バイナリメタデータに基づいて自動化されたルールやポリシーを作成する機能に対して限りない可視性を提供します。

組織全体に一貫したセキュリティ体制を導入

基本的なベストプラクティスを導入する単一のシステムですべてのソフトウェアコンポーネントを管理することでSSC内で一貫してセキュリティとコンプライアンスポリシーを適用できます。ソフトウェアの構成と詳細を把握することで顧客を保護し、新しい脆弱性に迅速に対応します。

究極のスケールへのシームレスなパス

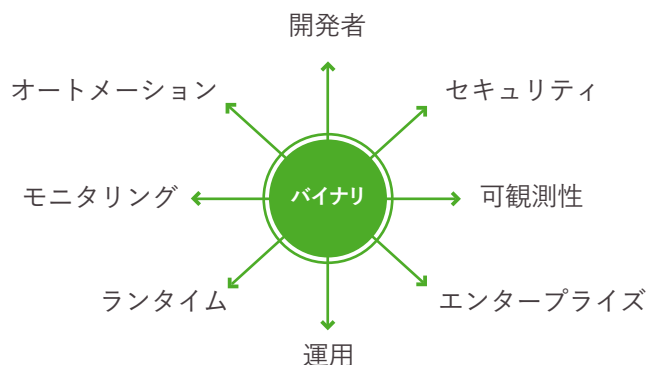
アーティファクトがどこで生成・消費されても効率的で信頼性の高いバイナリ配信により、グローバルな運用と配信モデルをサポートします。社内、マルチクラウドインスタンス、エッジでシームレスな運用を実現しながら、最も厳格なソフトウェアデリバリー、ユーザーエクスペリエンス、SLAパフォーマンスの指標を満たし、さらにそれ以上の成果を発揮します。

今すぐ大規模なバイナリ管理の準備を始めましょう

JFROGは2021年に以下の情報を確認しました

- 一つの組織で管理されるアーティファクトの最大数：**1億5,000万以上**
- ユーザー数260以上の組織で管理される平均アーティファクト数：**38万以上、68リポジトリ**
- Enterpriseのアカウントで活用される平均的なパッケージタイプ数：**15**

バイナリ：DevOpsの中心的な存在



JFrog DevOps Platformを利用することで、開発からデプロイまでソフトウェアの配信をインテグレーション、加速、保護できます。JFrogプラットフォームはオンプレミス、クラウド、エッジでセキュリティ、可視性と管理効率を向上させる柔軟で拡張可能なプラットフォームであり、Dev、Sec、Opsをより深くインテグレーションします。



JFrog Japan 株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 Global Business Hub Tokyo | TEL: 03-4243-1049 | Webサイト: jfrog.com/ja/ | ブログ: jfrog.com/ja/blog/
お問い合わせ: jfrog.com/ja/contact-us/

- JFrogの名称、ロゴマークおよびすべての JFrog製品の名称は、JFrog Ltd.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- JFrogは、通知を行うことなく、いつでも該当製品およびサービスの提供、機能を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。